

(学年) 2 学年、(教科・科目) 外国語科

協働学習

(単元) 不定詞

(本時のねらい)

文章構成や表現の適切さ等学んだことを踏まえ、まとまりのある文章で日本の伝統文化についての紹介文を完成させることができる。(「話すこと [発表] イ」)

(ICT 活用方法)

A L T に日本の名所や名物などを知ってもらうために、プレゼンテーションソフトで作成、発表する際に一人一台端末を活用した。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 7 分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をし、本時の目標を知る 前時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習で学んだ、相手にとってわかりやすい文章構成や表現について確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの内容をプレゼンテーションソフトで提示する。
展開 40 分	<ul style="list-style-type: none"> 各ペアで書いた紹介文をペア同士で発表しあう。 自分たちの発表を改善し、完成させる。 ペアを替え紹介文を発表し合う。 全体に向けて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章構成や表現の適切さ等について、良い点や改善点を伝え合わせる。 机間巡視をしながら、発表したことを踏まえて、加筆修正している取り組みを取り上げ、全体で共有する。 A L T に日本文化の魅力が伝わるように発表する工夫について意識させる。 互いの紹介文で、良かった点を話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末で発表資料を見せながら発表させる。
まとめ 3 分	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りをし、挨拶をする。 		

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末を用いることで、自分の伝えたい内容をより視覚的に訴えることができたり、調べる際にも活発な姿も見られた。今後 ICT の使用が形骸化しないようにより有意義な使用法について考えたい。